

学会企画シンポジウム 8

学級での協働学習の現状と実質化するための取り組み

——小学校・中学校・高等学校の現場から——

企画・話題提供：熊谷圭二郎（日本大学）

企画・指定討論：河村茂雄（早稲田大学）

指定討論：鹿毛雅治（慶應義塾大学）

司会・話題提供：苅間澤勇人（会津大学）

話題提供：杉本賢二 氏（山梨県道志村立道志中学校）

話題提供：藤原寿幸（横浜国立大学）

企画趣旨：

学校現場では「主体的・対話的で深い学び」のキーワードのもと、協働学習の推進が期待されている。しかし、学級には特別支援の必要な児童生徒だけではなく、他者と建設的に対話ができない児童生徒たちがとても多くなっており、学級内で協働学習の場を設定しても、協働学習が形骸化してしまう例は少なくない。文部科学省（2011）も児童生徒のコミュニケーション能力を育むことの必要性を強調している。本シンポジウムでは学級で建設的な協働学習を展開するために、計画的にレディネスとなる基盤づくりをして取り組んでいる実践者や研究者から話題提供をしていただき、取り組む難しさとそれを克服するポイントを見出したいと考えている。本シンポジウムの参加者一人ひとりがそれぞれの実践現場において、児童生徒たちの協働学習を促進する知恵を引き出すきっかけになればと願うものである。